

電子で創るさわやかスペース

# 活性炭脱臭機

## SN3110

# 取扱説明書

- お買い上げ頂き、ありがとうございます。
- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 本書はお読みになった後は、大切に保存してください。

## ＝ 目 次 ＝

---



---

1. 安全上のご注意	-----	1～2
2. 各部の名称	-----	3
3. 脱臭原理	-----	4
4. 使いかた	-----	4
5. メンテナンス	-----	5
6. 「故障かな？」と思ったときは		6
7. アフターサービス	-----	6
8. 仕様	-----	7
9. 回路図	-----	8






**株式会社 オーデン**



# 1. 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 注意事項は次のように区分しています。  
これらのマークと見出しに出会ったら記載内容を特に注意してお読みください。

 <b>警告</b>	「死亡または、重傷を生じる危険性があると同時に、障害、感電、火災が生じる可能性がある」ことを示しています。
 <b>注意</b>	「軽傷または、中程度の障害を生じる危険性があると同時に、本機が故障する可能性がある」事を示しています。

## <絵表示の例>

	<p>「禁止事項」(してはいけないこと)を示します。 詳細内容は、文章で図の近くに併記します。</p> <p> 「分解禁止」       「水ぬれ禁止」       「接触禁止」</p>
	<p>「強制事項」(必ずしてください)を示します。 詳細内容は、文章で図の近くに併記します。</p>

 <b>警告</b>	「死亡または、重傷を生じる危険性があると同時に、障害、感電、火災が生じる可能性がある」ことを示しています。		
	<p>■ <b>適正な電源での使用</b> 故障や火災の原因になります。</p> <p>正しい容量の全極遮断するブレーカーを使用する。(機器本体の規格にあった電源電圧でご使用ください。)</p>		<p>■ <b>メンテナンス時は電源を切ってください</b></p> <p>感電・けがの原因になります。</p>
	<p>■ <b>分解・改造禁止</b> 火災・感電・けがの原因になります。</p> <p>絶対に分解、改造をしないでください。修理はお買い上げの代理店または弊社のサービス担当にご連絡ください。</p>	 	<p>■ <b>水をかけたり、ぬれた手で操作しないでください</b></p> <p>本体やスイッチ類に水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。</p>
	<p>■ <b>防爆区域では使用しない</b> 発火・感電の原因になります。</p> <p>可燃性ガスの恐れのある場所への設置は行わない。</p>		<p>■ <b>アース(接地)を確実にを行う</b></p> <p>アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないで下さい。アースが不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。</p>

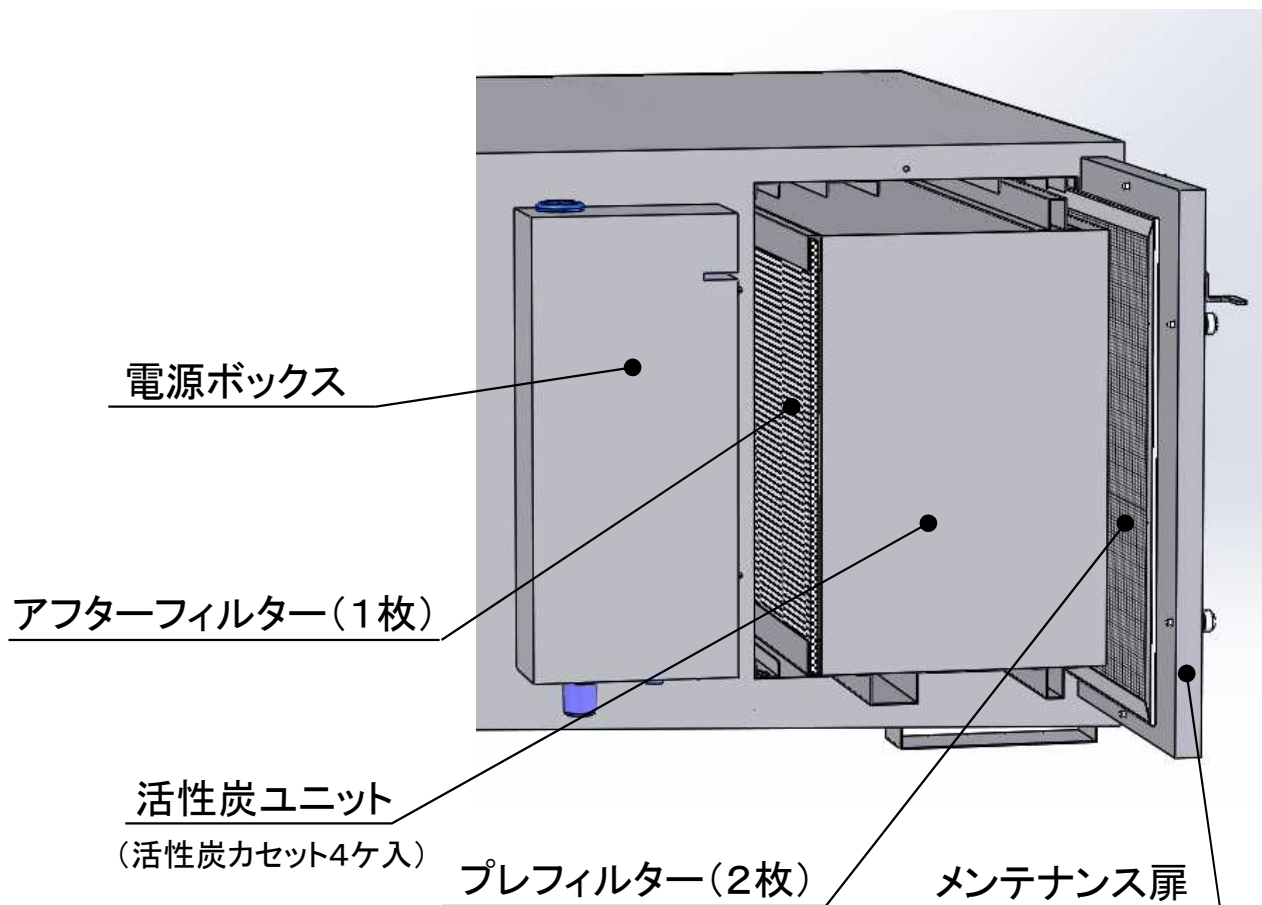
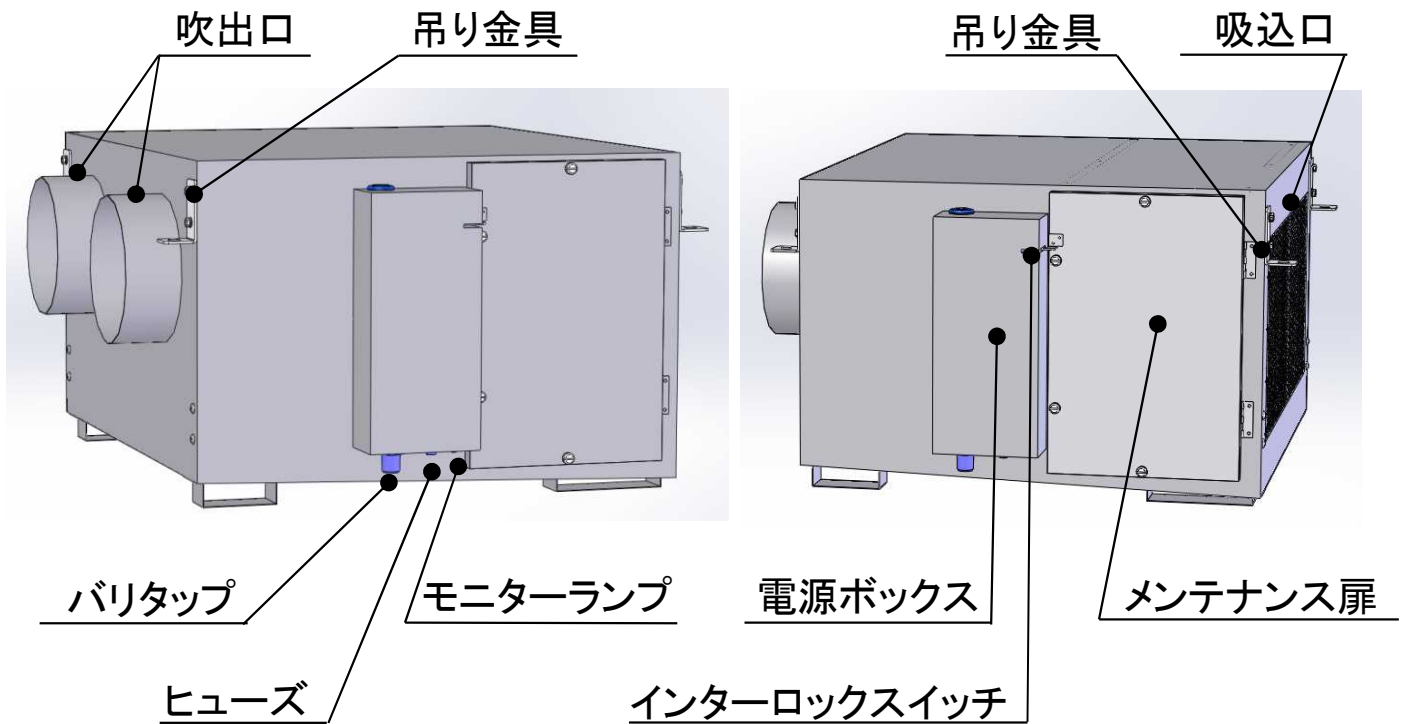
# 1. 安全上のご注意（続き）



**注意** 「軽傷または、中程度の障害を生じる危険性があると同時に、本機が故障する可能性がある。」ことを示しています。

	<p>■ 据え付け(吊り込み)は、重量に十分に耐える場所に確実に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強度が不足している場合は、機器の落下等により、けがの原因になります。</li> <li>・また、地震等に備え、確実な据付工事を行って下さい。</li> <li>・吊りボルトが長くなる場合は、耐震補強(耐震ブレース)を実施して下さい。</li> <li>・吊り元として不適正の場所(折坂屋根等)からは、吊らないでください。</li> </ul>	 	<p>■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に外力が伝わらないように固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因となります。(電源コードを引っ張ったり、物を掛けたりしないでください。)</li> <li>・また、電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用する。</li> </ul>
	<p>■ 本体の設置(吊り)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体吊り用金具の取付穴は、15×20の長円です。</li> <li>・吊りボルトサイズは、M10～M12(又はW1/2)を現地手配してください。</li> <li>・所定の位置に吊りボルトを設置ください。</li> <li>・吊りボルトは4本使用し、十分な引き抜き荷重に耐えるように固定してください。</li> <li>・吊り用金具はダブルナット(平座金入)で確実に固定してください。(金具を挟んで上部はナット1個、下部はナット2個)</li> </ul>		<p>■ 吊り用材料の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート(躯体)天井から吊る場合は、インサート金物(サイズM10～M12、又は、W1/2)が望ましい。なお施工アンカーの場合は、樹脂アンカーが望ましい。</li> <li>・一般鋼材(天井H鋼材等)から吊る場合は市販の吊り金具の使用となりますが、鋼材への締め付けは十分に行ってください。また、同上金具用補助金具(抜け止め防止用)を使用する事を推奨します。</li> </ul>
	<p>■ メンテナンスエリアの確保 メンテナンスができなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本体の取り付け工事時 メンテナンス扉側は60cm以上の間隔を確保してください。</li> <li>・内部の活性炭ユニットなどが取り出せなくなる恐れがあります。</li> <li>・活性炭ユニットは約14kgと重くなっています。落下や手指を負傷しない様取扱いには十分ご注意ください。</li> </ul>	 	<p>■ 本体の取り扱い注意 けがや故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹出口に手や物を入れないでください。また、回転部に触れたりするような行為は、絶対にしないでください。</li> <li>・製品の運搬、移動は十分に注意して行ってください。本体重量が約67kgと重い為設置時などの取り扱い時は手袋などを使用し、けがなどしないよう注意してください。</li> </ul>
	<p>■ フィルター等のメンテナンスについて 集塵力低下や故障の原因になります。</p> <p>メンテナンスは必ず実施してください。弊社によるメンテナンスが基本ですが御社にて実施の際は、本書の”5.メンテナンス”に従い、正しく実施ください。</p>		<p>■ 使用環境について 故障の原因になります。</p> <p>機器のサビ・故障など機器の寿命を早めたりする原因になります。次の環境下でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度が0℃～45℃の場所。</li> <li>・湿度がRH85%以下(結露がないこと)の場所。</li> </ul>

## 2. 各部の名称



## 3. 脱臭原理

### 1. 活性炭ユニット

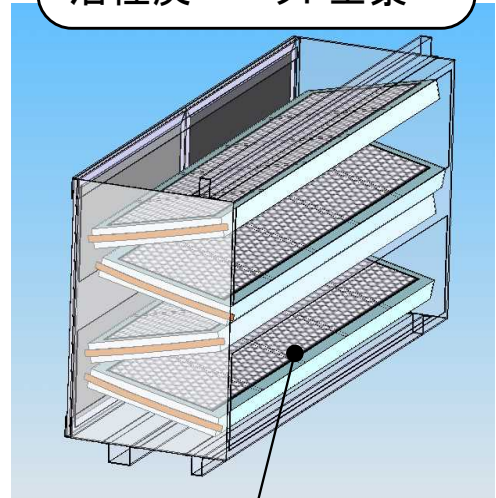
活性炭とは、石炭やヤシ殻などの炭素質を原料として高温でガスや薬品と反応させて作られる微細孔をもつ炭素で、粒状活性炭として使用しています。

ユニット内には、4ヶの活性炭カセットをハの字状の配置し 表面積を増しています。

ファンによって吸込まれた臭気はこのカセットを通過する時、粒状表面の微細孔に吸着します。

臭気が吸着した活性炭は、再生ができませんので 4ヶのカセットを同時に交換します。

活性炭ユニット全景



活性炭カセット

### 2. アフターフィルター

前面に不織布製・後面に金網を配置したフィルターです。

活性炭カセットを通過する際に生ずる微細粉を捕集します。

## 4. 使いかた

1. 単相200V(50/60Hz)の入り切りで運転します。



- ・電源を入れると「モニターランプ」が点灯し ファンが回転します。
- ・吸込口から風が吸込まれることを確認してください。

2. 吸込風量の調節

- ・電源BOX下面の「バリタップ」で「0から10」まで無段階で調節が可能です。

## 5. メンテナンス

(御社にてメンテナンスを行う場合)

### 手入れのしかた

手入れをする際には 電源を「切」  
にして行ってください。



1. メンテナンス扉を開け「フィルター類・活性炭ユニット」を取り出します。
  - ・メンテナンス扉を開けますとインターロックスイッチにより、電源はOFFとなり、モータ・ファンは停止します。
  - これは 誤って電源を入れたままメンテナンス扉を開いた時の「安全装置」です。

#### 2. プレフィルタのお手入れ

- ・塵埃の大きさ・種類などにより 目詰まりの度合いが変わります。  
設置後1ヶ月位の状態を見て メンテナンス時期を判断するようにしてください。
- ・洗淨は、温圧力水が最も効果的です。
- ・洗淨後は、よく乾燥させてください。

#### 3. 活性炭ユニットのお手入れ

- ・臭気の質・濃度などにより 臭気収集の度合いが変わります。  
設置後1ヶ月位の状態を見て メンテナンス時期を判断するようにしてください。
- ・洗淨は、できませんので 4ヶの活性炭カセットを同時に交換してください。

#### 4. アフターフィルターのお手入れ

- ・風量などにより 目詰まりの度合いが変わります。  
設置後1ヶ月位の状態を見て メンテナンス時期を判断するようにしてください。
- ・洗淨は、温圧力水が最も効果的です。
- ・洗淨後は、よく乾燥させてください。

#### 3. 再運転

- ・活性炭ユニット・フィルター類を機器に装着してください。
- ・装着後 メンテナンス扉を閉めます。閉め方が不完全な場合 電源が入らないことがありますので ご注意ください。
- ・電源を入れ 運転再開してください。

## 6. 「故障かな？」と思ったときは

※ 下記の項目にある症状にあわせて、確認作業を行いそれぞれに対処してください。

現象	原因	対策
電源が入らない	・電源が入っていない	電源の入りを確認ください
	・メンテナンス扉が開いている	メンテナンス扉を確実に閉めてください
	・ヒューズが切れている	ヒューズを交換する
風の入り方・出方が弱くなった	・プレフィルターの目詰まり	プレフィルターを外して清掃または、交換してください（*）
	・活性炭ケースの目詰まり	活性炭ケースを外して清掃または、交換してください（*）

注意：（\*）→ メンテナンスを外部に委託している場合は、委託業者にご依頼ください。

## 7. アフターサービス

### (1) 保証書

- ・ 保証書は必ず「販売店名・お買上日」などの記入をご確認の上、受け取ってください。
- ・ 内容をよくお読みになり、大切に保管してください。
- ・ 保証期間はご購入日から1年間です。  
但し 活性炭などの寿命による交換部品につきましては有料になります。

### (2) 修理を依頼されるときは

- ・ 故障診断（“6.「故障かな？」と思ったときは”を参照下さい）でチェックしてみてください。
- ・ それでも直らないときは、販売店にご連絡ください。

### (3) 保障期間中のお取り扱いについて

- ・ お求めになりました販売店にご連絡ください。
- ・ 保証書に記載されている事項に従って販売店が修理いたします。

### (4) 保証期間が過ぎたときのお取り扱いについて

- ・ お求めになりました販売店にご連絡ください。
- ・ 修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

## 8. 仕様

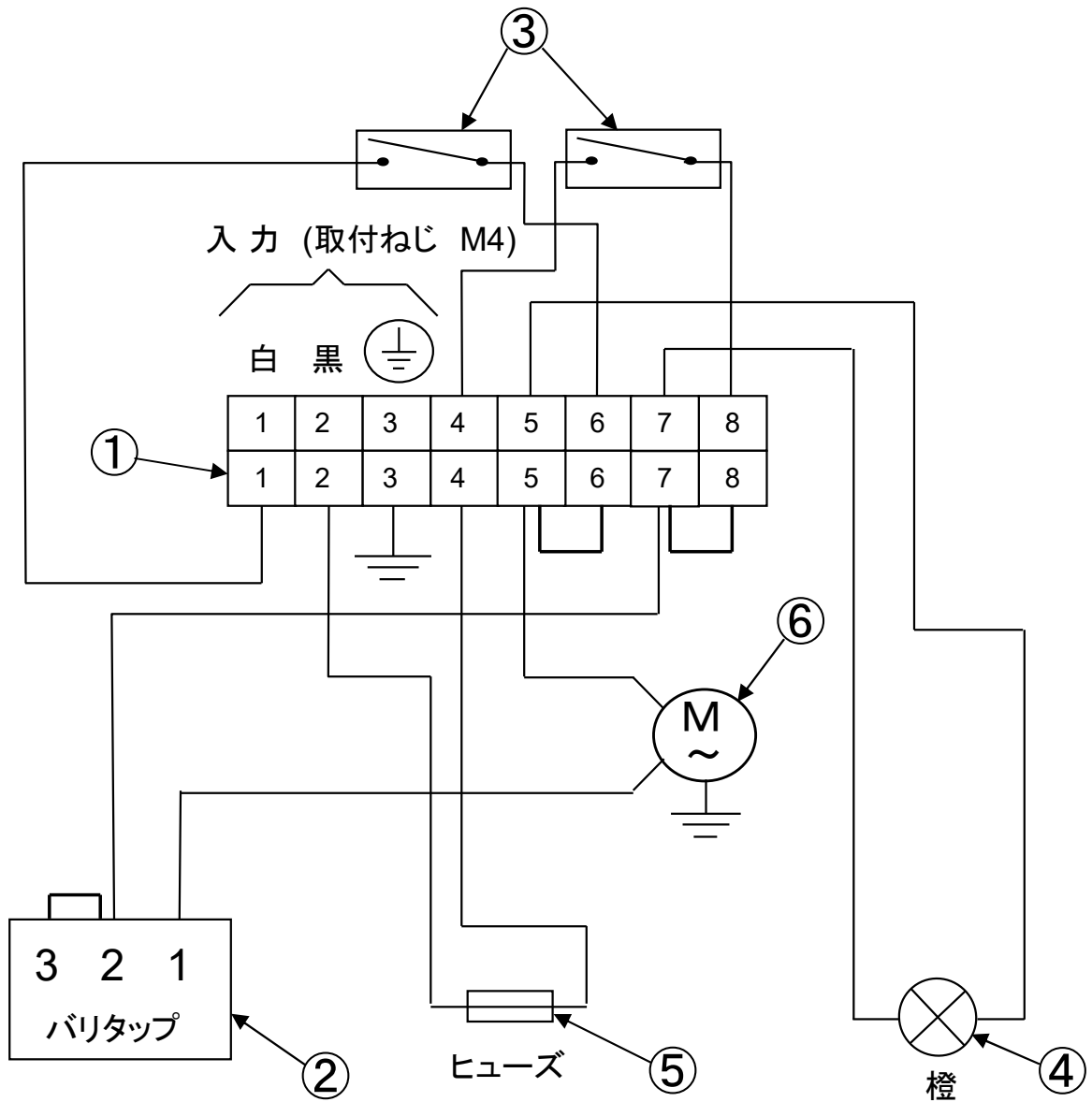
---

---

モデル名称	SN3110
用途	脱臭
電源	AC200V(单相)
周波数	50/60 Hz
消費電力	260/370 W
処理風量	18/22 m <sup>3</sup> /分
寸法 (吸込口を前面として)	803幅×783奥行×450高
重量	67 kg
風量調節	無接点無段階
脱臭方式	活性炭フィルター
設置方法	天吊・棚置き
吸込口	開放型
吐出口	ダクト型(Φ200)
活性炭カセット	4個 (0.65kg/個)
活性炭カセットサイズ	705幅×180奥行×25高さ



# 9. 回路図



NO	部品名称	数量
1	端子台	1
2	バリタップ	1
3	インターロックスイッチ	2
4	モニターランプ	1
5	ヒューズ (単相200V 4A)	1
6	モータ	1

取説管理番号

DN-SN3110-02